

平成31年4月24日

福島県

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構

福島ロボットテストフィールド「南相馬滑走路」「ヘリポート」の開所について

福島イノベーション・コースト構想に基づき整備中の「福島ロボットテストフィールド」において、4月26日（金）に「南相馬滑走路」及び「ヘリポート」が開所します。

福島ロボットテストフィールド（RTF）は、物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待されるドローン、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットを主対象とした、世界に類を見ない一大研究開発拠点であり、南相馬市及び浪江町に整備を進めております。

RTFでは、平成30年7月に通信塔、平成31年2月に試験用プラントを開所するなど、試験施設を順次開所しており、今年度末までに全施設を開所する予定です。今般、「南相馬滑走路」及び「ヘリポート」を4月26日に開所します。詳しい内容は以下のとおりです。

記

1. 南相馬滑走路

ドローン用の滑走路として、飛行試験、操縦訓練に使用する施設です。滑走路の周囲に広く確保した緩衝地帯では、衝突回避、不時着、落下、物件投下などの特殊な飛行も行うことができます。

RTFでは、南相馬滑走路と浪江滑走路（令和元年度第4四半期開所予定）を整備し、その間の広域飛行区域（約13km）において、通信塔から安全に関する情報（空域一帯の気象情報や、他の飛行物体の位置情報）を受けながら、長距離・広域の飛行を行うことが可能です。

また、南相馬滑走路は南北方向、浪江滑走路は東西方向であり、飛行時の気象条件によって離発着の方向を選択することができます。

仕様

- ・ 南北方向に、長さ 500m、幅 20m のアスファルト舗装
- ・ 滑走路を含む幅約 200m の緩衝帯
- ・ 滑走路近傍に電源、LAN 接続口



南相馬滑走路

2. ヘリポート

垂直離着陸型のドローンの試験・訓練ができるほか、試験機の追跡、試験機との通信試験・衝突回避試験、災害救助訓練などのための有人ヘリ離発着に使用できます。

仕様：

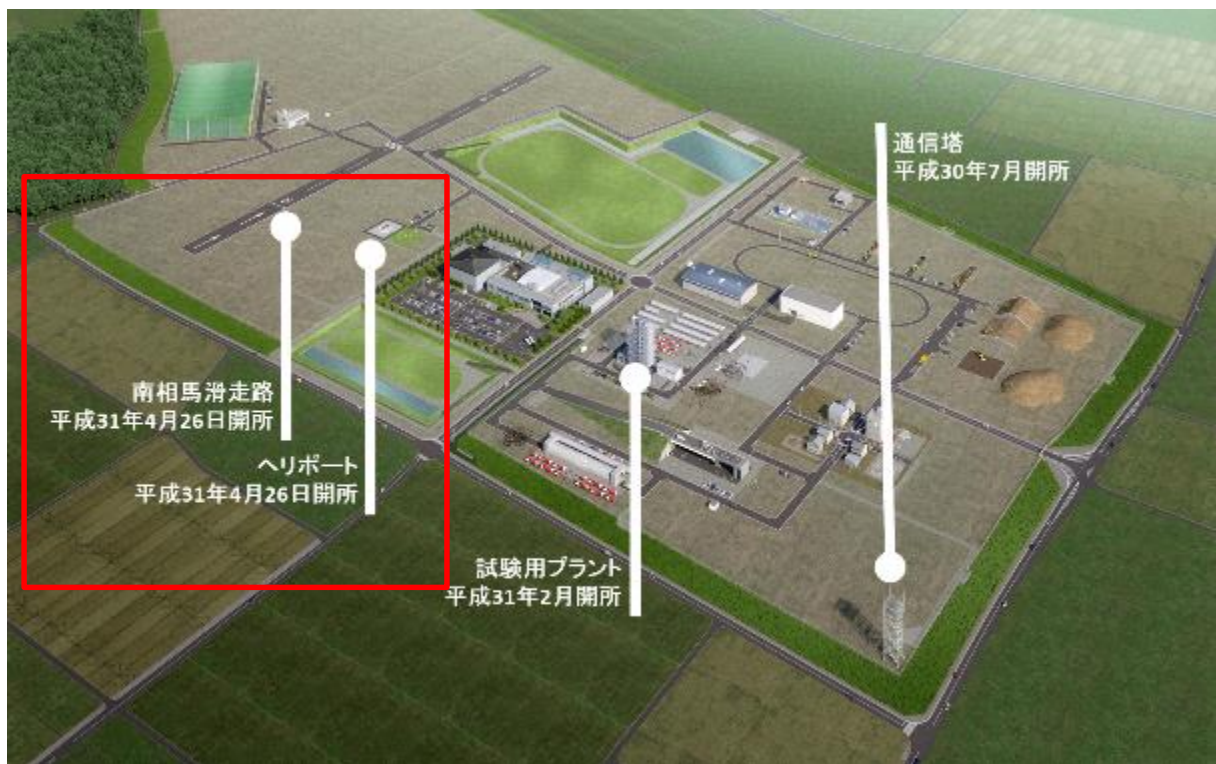
- ・ 離着陸帯 25m×20m にコンクリート舗装
- ・ 駐機場 25m×23m の芝地
- ・ 燃料庫 12m×6m×1.2m



離発着帯



燃料庫



R T F の開所済み試験施設

【お問い合わせ先】

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構ロボット部門

福島ロボットテストフィールド (担当：中村(敬)、金成)

Mail : robot1@fipo.or.jp

電話 : 0244-25-2473